議会だより せとうち

2025
9.1
第83号

議案審議……2～3
議会報告……4
代表質問……5～9
個人質問……10～15

太陽、空、そして海

（矢寄ケ浜）

不妊治療の助成に　300万円

現在保険適用になっている不妊治療の保険診療にかかる費用の一部を市が助成する予算が計上され、可決した。

問 詳細は。

答 助成金は一回の治療につき、上限10万円とする。

適用は医師が作成した治療計画の日付が、令和7年4月1日までさかのぼって申請することが出来る。

申請は健康づくり推進課の窓口で受付ける。

邑久高校の教科書無料に　310万円

これまで新1年生の教科書が無料配布されていたが、来年度からは全学年無料配布される予算が計上され、可決した。

問 対象を拡大した理由は。

答 市内唯一の高校の支援をしたいと、寄付者の意向により来年度の全学年の教科書配布となった。

問 なぜ今の時期か。

答 新入学生の募集にあたり、教科書無料が魅力アップとしてPR出来るように、早い段階で予算を計上した。

無料配布された教科書での授業風景

都市計画検討業務に　1千600万円

都市計画を進めるにあたり、都市施設の検討が不十分であるとわかり、検討業務を委託する予算が計上され、可決した。

問 都市施設の検討とは具体的には何を検討するのか。

答 道路と公園である。

問 道路と公園、それぞれの調査項目は。

答 道路については、将来的にどこに計画するか調査する。また公園については、現況を把握し何が必要か、それらを整理してどのような公園を作っていけば良いかを調査する。

問 委託先は。

答 入札により決定した土木設計のコンサルタント会社に委託する。

帯状疱疹ワクチン接種に　約1千300万円

令和7年度から始まっている、65歳から5歳きざみの方を対象にしたワクチン接種予算が計上され、可決した。

問 全額負担ではないのか。

答 接種費用は一部自己負担となる。生ワクチン、組み換えワクチンともに、半額以下で接種出来る。

問 帯状疱疹にかかりやすくなる50歳からを対象にすべきでは。

答 帯状疱疹は50代から罹患率が高くなり70代でピークに達すると言われている。

ワクチンの効果も考慮して国の定期接種の対象年齢である65歳と設定した。

どこからでも申請、相談が可能に！市民窓口のオンライン化に　約1千200万円

国が進める※フロントヤード改革のシステムを導入する予算が計上され、可決した。

問 詳細は。

答 オンライン申請の仕組みの拡充とメニューの追加を考えている。

窓口のオンライン予約や、リモート相談ができる仕組みの構築も、視野にいれている。

問 リモート相談はどこで出来るのか。

答 各支所、出張所、市民課、国保年金医療給付課、税務課、健康づくり推進課、いきいき長寿課、福祉課、こども家庭課の10か所を想定している。

問 教育委員会には、導入しないのか。

答 必要であれば入れていく。

現行、教育委員会関係の申請や相談は、牛窓まで行かないといけない。

今後、他所からZoomを使って相談や申請が出来ることも、想定していく。

※フロントヤード改革とは
総務省が実施する自治体と住民との接点の多様化、充実化、窓口業務の改善を通じて、住民の利便性向上と職員の業務効率化を図るものである。

令和7年第3回（6月）定例会　賛否の公表

議案名		議決年月日	採決結果	日本共産党瀬戸内市議団		かなえの会				明るい明日をつくる会				公明党瀬戸内市議団		瀬戸内市民の会			無所属			賛成	反対
				島津 幸枝	増田 貴之	秦井 誠司	成本 崇	嶌原 舞	谷 美香	日下 俊子	厚東 晃央	小谷 和志	原田 茂	河本 裕志	川勝 浩子	小野田 光	原野 健一	木下 公文	石原 芳高	相澤 忠明	廣野真智子		
議案第52号	瀬戸内市産業振興拠点施設整備工事に伴う工事請負契約の締結について	R7.7.17	原案可決	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	15	2

○＝賛成　●＝反対　退＝退席　欠＝欠席　—＝議長職（議長は裁決に加わりません）

※他の議案については、全員賛成

議　会　改　革

議会運営委員会は、議会改革に取り組みます。議会体制が変わる２年後を目指して、結果を出していきます。

議会ＢＣＰ

市議会は2015年、市議会における災害対応規程を設けています。

いつ起きてもおかしくない大規模災害や感染症の流行など非常時においても議会としての機能を維持するために、議会ＢＣＰ（議会業務継続計画）の策定を進めていきます。

議会報告会の在り方

市議会は2012年、議会報告会の開催を規定した、議会基本条例を制定しました。

それ以降開催してきましたが、画期的な参加人数の増加とはなっていません。

市民に興味を持ってもらえるよう、考えていきます。

陳情請願の取り扱い

陳情請願の取り扱いについては、議会運営委員会で取り扱いを協議してきました。

今後、細かい陳情請願の取り扱いの決まりについて検討していきます。

議員報酬の見直しについて

議員報酬は合併以来変わっていません。県下の他自治体では、社会情勢や類似団体の動向を踏まえ、報酬を見直している状況です。本市も適正な報酬について見直しを検討していきます。

訃　報

平原順二議員（82歳）が、去る4月4日に逝去されました。

故平原議員は、平成7年に長船町議会議員に初当選され、合併後も長期にわたり市政に参画され、瀬戸内市議会議長をはじめ、数々の要職を歴任されるとともに、常に市民の声に耳を傾け、市民のための行政推進に邁進されました。

地元の要として地域の振興に努められるとともに、広く市全体を見据え活躍されました。これまでの功績をしのび、心からご冥福をお祈り申し上げます。

岩田恵一議員（73歳）が、去る5月24日に逝去されました。

故岩田議員は、令和3年6月に瀬戸内市議会議員に初当選され、わずか一期という限られた期　間の中で、すぐれた政治感覚と卓越した見識により、決算常任委員会においては副委員長を務めるなどの要職を担われ、瀬戸内市の発展のため、また環境福祉の向上のために力を尽くしてこられました。

そしていかなる事案においても、その市民目線の言動は一貫して是々非々の立場で臨んで来られました。

私たち市議会は、お二人の志を引き継ぎ、市民が幸せを感じるまち、安心で安全なまちづくりのために努力してまいります。

これまでの功績を偲び、心からご冥福をお祈り申し上げます。

代　表　質　問

日本共産党瀬戸内市議会議団　島津幸枝

代表質問の映像を録画放映でご覧になれます。

1. 市長の政治姿勢を問う
2. ごみ行政について
3. 地域ビジネス支援センターについて
4. 夏の猛暑対策について

問 物価高騰による市民生活への影響をどのように受け止め、市としてどのような対策が必要と考えているのか。

市長

物価高騰の影響で、食料品、エネルギーなど品目ごとの価格が上昇し、家計の負担が増していると実感している。特に、低所得世帯や子育て世代への影響は大きく、市民生活を圧迫していると感じている。

今議会の補正予算に計上した不妊治療への助成や邑久高校生徒への教科書贈呈は、家庭への負担を軽減するものになっている。引き続き、必要な地域経済支援や子育て支援など、市民生活の影響を最小限に抑えるための対策を検討していきたい。

問 燃やすごみの減量化が計画どおり進まなかった要因をどのように考えているのか。

環境部長

コロナ禍以降、資源ごみ回収推進団体の活動が低下傾向にあることや、市の説明会や出前講座の開催頻度が減少したことなどのほか、市内事業所の増加や経済活動の活性に伴う事業系ごみの増加など、様々な要因が複合的に影響している。

問 指定ごみ袋の大幅な値上げ計画が示されたが、提案理由は。

環境部長

来年度から実施予定のプラスチック資源の一括回収の開始により、各家庭で燃やすごみの減量に取り組みやすくなるタイミングに合わせて、指定ごみ袋の処理手数料について、近隣自治体と同程度のご負担を市民の皆様にお願いする方向で、見直すことにした。

来年度から値上げが計画されている指定ごみ袋

問 地域ビジネス支援センターの現時点の事業費と財源は。

産業建設部長

総事業費は、約９億７千万円となる予定。事業費の財源内訳は国からの交付金が約３億７千万円、一般補助施設整備等事業債が約３億３千万円となっており、残額である２億７千万円は、一般財源によって負担する。

問 災害避難所ともなる学校体育館にエアコンの設置を。

教育次長

国は、令和15年度までの時限措置として、空調設備整備臨時特例交付金を創設している。本市の小・中学校12校全てが臨時特例交付金を活用することが可能となっている。複数年での導入計画の検討、また補助金の対象となるべく断熱化の改修計画など、補助金を活用するための課題に取り組んでいる。

代　表　質　問

代表質問の映像を録画放映でご覧になれます。

明るい明日をつくる会　日下　俊子

1 新市長の市政運営について

問 選挙を戦う中で、市民が望んでいるのは大きなことではなく、ちょっとよくなったと思える明日だということをしみじみと感じた。そんな明日を目指す、そしてそんな明日をつくることを目指す会派にしたいと会派名を命名した。

今回の選挙は、瀬戸内市とは思えない最先端のSNS選挙で、まるでここは兵庫か東京かと思うようだった。

今議会の議案の不妊治療、邑久高校の2、3年生の教科書無料化についても市長の動画発信を見た。

私たち議員は議案説明を大ざっぱに受けただけの時に、市長が市民に向けて議員も知らない情報を発信している。そして、最後に議会を無事通過するまでお待ち下さいというお知らせが入る。これから、議員が議会の委員会で執行部としっかり議論する前に情報はちまたにあふれ、市民を人質に取ったかのごとく、議会に対して動画で圧力がかけられる。

これは大変違和感があるが、その目的は。

市長 情報公開をしながら、市民の皆さまのご意見をしっかり反映できる市政運営を行いたい。

問 武久前市長はセットトークという市民との対話の場を設けて、市長への手紙も市民と市長をつなぐものだった。

武久前市長は本当に市民との距離が近かったと思う。気楽に、どんな小さな催しにも足を運んで、市民との対話をとても大切にしていた。

瀬戸内市に縁もゆかりもない黒石市長だからこそ、瀬戸内市の隅から隅のそれぞれに市民の生活があり、地域によって様々な特色がある。

そんな瀬戸内市の風土、市民の頑張りをその目で確かめていただきたいが、どうか。

市長 現地にできる限りお伺いしたい。

問 本市は、ふるさと納税制度を活用して、ウクライナをはじめとする世界各地の難民支援のために国連UNHCR協会を通じてUNHCRに寄附している。

令和4年4月、国会で立憲民主党の古賀之士参議院議員が行政監視委員会で、『ふるさと納税制度の本来の趣旨にどこまで合致しているのか。』と疑問を投げかけている。

このことでもわかるように、国会で問題になるようなやり方ということだ。アウトではないが、かぎりなくグレーだということも明らかだ。

市長も変わったことだし、やめたらどうか。

三浦副市長 引き続き、ふるさと納税を活用しながら世界難民支援プロジェクトに取り組む。

ウクライナ寄附を募るふるさと納税ホームページ

令和7年第2回（2月）定例会　ウクライナに対する寄附の賛否

議案名		議決年月日	採決結果	かなえの会			日本共産党瀬戸内市議団	公明党瀬戸内市議団	創流クラブ		瀬戸内市民の会				新風				賛成	反対
				秦井誠司	成本崇	鳥原舞	厚東晃央	島津幸枝	河本裕志	川勝浩子	竹原幹	日下俊子	小野田光	原野健一	平原順二	木下公文	廣田均	小谷和志	石原芳高	岩田惠一		
議案第15号	令和6年度瀬戸内市一般会計補正予算（第7号）に対する修正案について	R7.3.3	否決	●	●	●	○	●	欠	●	○	○	●	○	欠	○	●	—	●	●	5	9
				ウクライナに対する寄付に反対する修正案が提出されたが、賛成少数で否決した。																		
	令和6年度瀬戸内市一般会計補正予算（第7号）	R7.3.3	原案可決	○	○	○	●	○	欠	○	●	●	○	●	欠	●	○	—	○	○	9	5

代　表　質　問

代表質問の映像を録画放映でご覧になれます。

瀬戸内市民の会　木下公文

1 安全・安心のまちづくりについて
2 地域経済及び産業振興について
3 少子高齢化及び人口減少対策について
4 職員の働き方について
5 今後の政治姿勢について

問 選挙中から前市長の政策を引き継ぐことを演説や動画等で言われていたが、具体的にどういった政策を引き継ぐのか。

市長 前市長は、人口減少に伴う財源不足をそのまま受け入れるのではなく、メガソーラーの導入や企業誘致、刀剣など、観光資源の充実等を通じて新たな財源を確保し、市民生活の向上や行政サービスの充実に積極的に取り組んでこられた。人口が減るから、財源が減る。そして、住民サービスをカットせざるを得ないという方針ではなく、市民の皆さまのお一人お一人の声をしっかりと形にしていくために、財源を主体的に生み出していくという方針を引き継いでいきながら、皆様の声を実現していきたい。

問 財源を確保していくために、様々な方法が考られるが、国の有利な財源を確保していくことも視野に入れて考える必要がある。また、本市がどういった交付金が欲しいといったことを市長が自ら国に提案をしていくことも非常に大事だと思うが、見解は。

市長 必要な物や財源について、県、国にも要望と提案をしていきたい。

問 農業、漁業、商業、観光業等様々な産業があり、地域の特性を生かした産業振興が必要だと考える。

また、地域の自立的発展や活性化に不可欠な要素でもある。現在、多くの自治体や関係機関が中小企業の新事業創出や経営力強化、地域資源の活用支援等に取り組んでいる。

本市の地元産業の振興策、地域活性化の新たな取組は。

産業建設部長 利子補給制度を運用している。また、市内で長期的に事業を継続している事業者が再投資を行う場合に事業費の助成や固定資産税の軽減措置を行っている。

さらに事業者の販路拡大やブランド構築を目指した食品見本市への出展、企業への魅力発信を目的とした企業説明会への参加等を実施している。

問 市長の行政報告の中に、地域ビジネス支援センターを核として創業支援や新産業創出の推進に取り組むとあったが、どういった取組をしていくのか。

市長 具体的にはこれから検討していく。

代　表　質　問

代表質問の映像を録画放映でご覧になれます。

かなえの会　秦井誠司

1 本市の活性化及び施策について
2 人口減少・少子化対策について
3 公共交通について
4 教育について

問 人口減少問題の具体的な課題とその取組をどのように認識しているのか。

市長

本市における人口減少問題は、地域にとって喫緊の課題であり、行政として真剣に取り組むべき最重要項目の一つであると認識している。

その中でも具体的課題を3点にしぼると、地域経済の縮小、公共サービスの維持、地域コミュニティの弱体化である。

これらの取組は、地元の強みを生かした産業の育成、企業誘致、そして雇用創出による地域産業の振興、加えて、住みたい、また住み続けたいまちづくりが根幹として必要だと考えている。

問 人口減少、過疎化などに対して、黒石市長のこれまでの民間企業での経験を生かした本市を活性化する施策は。

市長

本市が抱える人口減少、過疎化、高齢化などの複合的課題に対し、従来の行政の枠にとらわれない新しい発想が必要と考えている。

そのため、私自身の民間企業での経営経験を活かすとすれば、本市のプロモーションや中小企業支援、そしてふるさと納税の拡充など、財源確保とともに、移住者視点を踏まえた制度設計に取り組んでいきたい。

これからの魅力づくりとして移住者がどのような情報収集をして、何を軸に判断しているのかをとらえていきながら、考えていく。

まず短期的にお金をかけず、既に魅力になっているものを言語化し、誰にでもわかりやすい周知の強化を図っていく。

問 本市の公共交通において効率化や利便性向上のためにデマンドシステムを導入する考えはあるのか。

市長

現状の定時定路線バスと完全なデマンド型の間の段階の中に最適解があるのかもしれないと感じている。地域の皆さまとお話しの場を設けながら進めて、考えていきたい。

既存の仕組みの中でまずできることをいろいろ試行錯誤しながら取り組んでいき、新しい取組の検証の前に過去の取組のデータも改めてじっくり確認していきながら考えていきたい。

代　表　質　問

代表質問の映像を録画放映でご覧になれます。

公明党瀬戸内市議団　河本裕志

1 市長の所信について
2 市民からの声について

問 学校外教育バウチャー制度導入を検討するとあるが、教育の充実を図るべきではないのか。

市長

公教育は全国どこにいても高品質教育を提供していくことが使命である。

市の子どもたちの中には、より良い教育環境を求めて岡山市の塾に通われている方やオンラインで首都圏の教育サービスを利用している方もいると聞いている。

どのような地域に住んでいてもその利用に差が生じづらい状況を実現したい。

問 バウチャーとは、クーポンという意味でもあると思うが、お金・塾の権利などを支援することか。

市長

塾や教育サービス、オンラインも含め利用したいけど金銭的なことがハードルになる方を想定して、そこにクーポンに類似するものなど考えている。

問 人生100年時代に向けた高齢者の就労について、どう考えているのか。

三浦副市長

市が実施しているゆめワークせとうちでは、高齢者の方に合うような職場の開拓も積極的に行っている。

時間や体力など個々の高齢者の状況に合わせて丁寧に行っている。

問 農漁業の後継者についてどう考えているのか。

市長

農業、漁業の仕事の魅力とこの瀬戸内市で従事できる農作物のブランドの高さ、そして漁業の素晴らしい水産物が捕れるという魅力を発信していくことが大事である。

一番取組むべきテーマは、どれだけ稼げる産業にしていくかが大事だと考えている。

農業においては大規模化を推進していくことが主軸になりつつ、大規模化を進めることを通じて利益率も結果的に上がり、初期投資もしやすくなると思うので応援していく取組みを進めていきたい。

どこまで高付加価値化、単価アップが実現できるかの取組みを進めていきたい。

瀬戸内市の地域区分の現況
（資料：おかやま全県統合型GIS）

問 投票率を上げるためにできることは。

選挙管理委員会事務局長

速効性のある対策は、課題も多く難しい。

問 ほかの自治体では、候補者の主張や政策、新聞折り込み等で配布する選挙公報やポスターなどにQRコードが記載されて、それを読み込むことで候補者のデータを知る工夫があるがどうか。

選挙管理委員会事務局長

次回の選挙までには条例等を整備して、身近にすぐ見られる、確認ができる状況を作りたい。

個人質問

廣野真智子（10ページ）
1.応急手当普及員制度の導入について
2.用水路の転落防止対策について
3.給食調理場の熱中症対策について

原野　健一（11ページ）
1.農業振興地域について
2.小学校統合について

川勝　浩子（11ページ）
1.物価高騰対策について
2.行政委員の報酬について
3.邑久駅の駐車場について
4.要望書について
5.こどもパークについて
6.少子化対策について

谷　美香（12ページ）
1.地域資源を活用した子どもの育成力の向上について
2.地域の担い手不足について
3.市民活動の活性化について

小谷　和志（12ページ）
1.道路整備について
2.観光振興について
3.こどもパークについて

厚東　晃央（13ページ）
1.公共交通の充実について
2.医療体制の充実について
3.地域ビジネス支援センターについて

増田　貴之（13ページ）
1.学校給食について
2.物価高騰対策について
3.駅関連の整備について

成本　崇（14ページ）
1.観光推進について
2.業務の効率化について
3.旧牛窓学校給食調理場の活用について
4.海ゴミの処理について

原田　茂（14ページ）
1.学校教育について
2.小学校周辺の通学路の安全確保について
3.長船駅の整備等について

嶌原　舞（15ページ）
1.耕作放棄地に対する取組と地域農業の支援について
2.保育園の取組について

相澤　忠明（15ページ）
1.地域ビジネス支援センターについて
2.地域のネットワークづくりについて
3.部活動の地域移行に係る進捗について

写真：太陽に向かい咲き誇る５万本のひまわり（牛窓神社付近）

原野　健一

問　３小学校を統合する場合の大きな問題点は

答　問題点や課題として６点が挙げられる

個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

問　義務教育学校として、小学校６年、中学校３年の６・３制度に縛られず４・２・３制度などの学年編制で、より安定し、かつ充実した新しい学校づくりを行うために、牛窓中学校と牛窓町内の３小学校を統合してはどうか。統合すれば切磋琢磨して学力・体力づくりを行うことができるようになる。牛窓町内の３小学校を統合する場合の問題点、また課題にはどのようなものが挙げられるのか。

牛窓中学校と牛窓３小学校

教育長

統合の問題点や課題としては、現時点で大きく６点が挙げられる。１点目は、新校舎の場所である。統合に伴い新築するのか既存の小学校舎を利用するのか、どの小学校舎を選択するのかである。２点目は、通学距離や時間の増加による、児童・保護者への影響である。３点目は、通学支援策として必要になるスクールバスの導入に伴う購入費、またそのバスの運転手の確保が困難であること。４点目は、地域コミュニティの維持・活性化に陰りが生じてくること。５点目は、閉校となる校舎の跡地利用の問題である。６点目は、制服・校歌・校章の新たな整備、現在３つの小学校で行われている特色ある教育活動について、取捨選択や融合を進めなくてはならない点である。

川勝　浩子

問　こどもパーク計画を変更するのか

答　財源の移行に伴い見直しが必要となった

個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

問　こどもパーク計画はどのように変更するのか。

こども・健康部長

想定していた財源の移行に伴い要件が変わり、事業の複合化と施設規模の見直しが必要となった。

問　行政委員の報酬を町内会口座へ振り込むようにしてはどうか。

総務部長

昨年度、行政委員等制度の審議会の条例を立てた。審議会で検討していく。

問　邑久駅の駐車場利用状況を、入らなくてもわかるようにしてはどうか。

総務部参与

満車表示板を県道側にも設置する、アプリを有効に活用するなど、状況を見ながら有効性の高さ、費用なども考え検討する。

問　物価高騰対策として、市独自の支援を考えないか。

県道から入らないとわからない駐車場利用状況

市長

財源がないとできないが、財源の要望はできると思うので、県や国に市の状況をしっかりと発信していく。

問　要望書の見える化、データ化を考えないか。

産業建設部参与

要望書のデータベース化を進めている。提出の仕方も窓口とネット申請があり、ネットの場合は状況ごとにメール送信出来るよう改修を進めている。

個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

廣野　真智子

問　応急手当普及員制度について

答　広報を重視していかなければならない

問　たくさんの方に救命講習を受けていただくため、市民の方々が講師をすることができる応急手当普及員制度の導入を瀬戸内市はどう考えているのか。

消防長

瀬戸内市では、瀬戸内市応急手当普及啓発活動推進に関する実施要綱に基づき合併当初より導入されている。今後もより一層、普及啓発活動を充実させていきたい。

問　用水路の転落防止対策について、危険な箇所、転落防止対策について。

産業建設部参与

自治会や通学路合同点検、消防署からの情報提供を元に、転落防止柵の必要箇所の把握と対策の検討を進めている。転落防止柵の設置が困難な場所については視線誘導標や反射板の設置で対応している。転落事故を防ぐには、地域住民や、児童・生徒への注意喚起等の両面から転落防止対策に取り組んでいる。

問　暑い季節となり、給食調理場の熱中症対策について。

教育次長

委託している各民間業者とも熱中症対策をしている。始業からエアコンを稼働し、こまめな水分補給を促している。食器等の洗浄作業においては、夏場には半袖Tシャツでの作業を認めている。

谷　美香

問 地域資源を生かした学習体験支援を

答 1つ1つ勉強していきたいと思う

個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

問 瀬戸内市には、海、山、里の豊かな自然、歴史や文化、そして子どもたちを支える市民団体や地域の方々など、多様な地域の宝がある。こうした地域資源を生かした子どもの育成として、公営塾や体験学習を導入してみてはどうか。

教育長

放課後子ども教室を裳掛小学校区で実施している。

総合的な学習時間に体験学習を実施している。

学校規模が大きくなると、できる数には限度がある。

熱気球の体験学習

問 地域維持のため欠かせない溝掃除、草刈り活動において、人口減少や高齢化による人手不足、一人一人の負担増が深刻な問題になっている。市として、どのような対策を講じるのか。

産業建設部参与

対応が困難な箇所は、持続可能な維持管理手法の導入や先進事例の調査、分析を進めていく。

問 多くの活動団体や自治会に、市民活動応援補助金が活用されるように積極的な周知や支援の拡充を考えているか。

総合政策部長

見直しが必要な場合には柔軟に対応し、支援を充実させるため改善している。効果的な周知方法について検討し、多くの方に活用してもらえるよう努める。

小谷　和志

問 通学路の抜本的な改善を

答 県と市と協力し改善に取り組む

個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

問 美和小学校区の通学路には、県道横でグリーンベルトも薄くなり、傘をさすと白線を越えてしまうような危険な場所がある。抜本的な改善が必要ではないか。

産業建設部参与

歩道のない県道の路肩を通行している場所の改善は県に要望している。安全に通行できるように拡幅整備を市と県で協力して改善に取り組んでいく。

問 拡幅ができないときは新しい道をつくるなど対応策も検討すべきではないか。

産業建設部参与

別ルートは市が考えるという方法もある。

非常に危ないと認識しているので、何とか前に進めていきたい。

安全対策が求められてる
通学路長船町東須恵

問 予算がないから対応できないという声を聞く。通学路の改善のために予算の増額が必要ではないか。

産業建設部参与

通学路点検結果のうち、令和4年度は42件中26件を対応、令和5年度は53件中9件を対応、令和6年度は17件中4件を対応している。

順次対策を進めているが、未対応の箇所が増えている。優先順位をつけ、計画的に対応に努める。財源確保は国へ要望していく。

厚東　晃央

問 市民病院での小児科の夜間診療の実施を

答 難しいが、利用しやすい体制を取り組む

個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

問 市民病院での日曜日の小児科診療は好評と聞く。子育て世代の要求である小児科の夜間診療ができるように検討すべきではないか。

病院事業部長

夜間診療は医師の確保や運営体制の課題を慎重に考慮する必要がある。現時点では、対応することが難しい。

問 耳鼻科や皮膚科の診察日を増やすことはできないか。

病院事業管理者

耳鼻科や皮膚科の医師の成り手が不足している。今も他院から派遣してもらっている。何とか診療日数を増やすようにお願いしたが、無理だった。

問 市内に皮膚科、耳鼻科を誘致できないか。

三浦副市長

責任を持ち誘致するこ

さらなる充実が求められる市民病院

とは難しいが、今後の課題である。

問 「買い物に行けない」「外出が難しい」「近くの停留所や駅までなかなか行けない」という声を多く聞く。デマンドタクシーの導入をすべきではないか。

総合政策部長

デマンドタクシーは事前予約に基づき利用者が乗り合うことで効率的に運行する予約型乗り合いタクシーだが、利用者ニーズを踏まえながら、他市を参考にして導入の可能性について慎重に探る。

増田　貴之

問 駅の駐車場が満車で利用できない時がある

答 駐車場の増設を柔軟に対応していく

個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

問 邑久駅、長船駅の駅前整備に伴い駐車場台数が少なくなり困っているとの声を聞くが、その対策は。

産業建設部参与

長船駅は南側の公共用地を駐車場として増設を計画する。邑久駅はデータ収集や用地確保が出来ておらず今すぐの対応は出来ないが、今後利用状況に応じて柔軟に対応していく。

長船駅の駐車場用地（公共用地）

問 長船駅にエレベーターを設置することについて、これまでの経緯と今後の見解は。

産業建設部参与

JR西日本と継続協議をしているが、整備・管理費用などで難航している。次回は年度内に協議を設け、粘り強く協議していく。

問 令和7年度は学校給食は無償だが、令和8年度以降も無償化の継続を求める。

教育次長

国においても無償化の議論がなされている。今後その動向を注視しながら、さらなる保護者負担の軽減策について検討していく。

問 物価高騰対策が不十分であると考える。水道料金（家事用）の基本料を今年度無料にしてはどうか。

上下水道部長

水道事業は厳しい経営状況であり困難である。

成本　崇

問 旅先納税促進について今後の考えは

答 利用促進の報奨金を開始している

個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

問 旅先納税の今後の促進方法は。

総合政策部長

e街ギフト加盟店にPRへの協力を依頼し、昨年11月より、旅先納税の利用があった場合には10％の報奨金を支払う仕組みを開始している。

問 旅先納税は、市内の事業者に認知もされておらず、まだまだ使い切れてない状況である。税収を増やすポテンシャルを秘めているとは思わないか。

市長

ふるさと納税額を伸ばしていくときに、旅先納税活用の最適解を考えていく。

※旅先納税とは、ふるさと納税の制度を利用し、旅行で訪れた自治体に寄付できる仕組み。寄付はスマホから約5分程ででき、返礼品の電子ギフトはその場でもらえて、旅先ですぐに使える仕組み。過去に行ったプレミアム商品券「瀬戸内市プレミアムe街ギフト」で使った電子商品券のシステムを利用している。

旅先納税で観光促進を

問 ボランティア等の清掃活動で集めた海ゴミを処理場への持ち込みでなく、回収する方法を検討しては。

市長

ボランティアの活動に支障がないような形で応援をしていきたい。制度や予算の兼ね合いなども含めて、検討していく。

原田　茂

問 どのように生徒の学力を向上させるのか

答 授業改善に努めている

個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

問 優秀な生徒を表彰したり、さらに伸ばす方策は考えられないか。

教育長

特定の児童・生徒を表彰するという手法については、慎重に考える必要がある。

学力の高い児童・生徒に対して適切な支援を行うことは重要であり、こうした児童・生徒がさらに意欲的に学習に取り組めるよう授業改善に努めている。

問 服部交差点から大用水までの間、自動車やトラックなど、交通量が多い。通学路の安全対策をどう考えているのか。

産業建設部参与

岡山県にて、服部踏切西側から小山歯科クリニック付近の歩道整備の工事を実施する予定。

服部踏切整備は、令和9年度以降の工事で準備を進めている。

問 長船駅のエレベーターの設置、西側改札口の設置など、市民の要望が強いが、どのように取り組むのか。コロナ以前の便数の回復や改札窓口への人員配置等、JRと協議していく予定はあるのか。

産業建設部参与

市の財源確保が大きな課題であり、JR西日本との協議を引き続き行っていく予定である。

総合政策部長

今後も引き続き、JR西日本との継続的な要望や協議を進めていく。住民の声を反映させ、地域の公共交通の維持発展に取り組んでいく。

混み合う服部交差点付近

嶌原　舞

問 地域農業の補助事業を検討すべきでは

答 今後、必要な支援を実施していく

個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

問 少子高齢化により農業の担い手不足が深刻な問題となり、周辺部では耕作放棄地が増え続けている。風光明媚な瀬戸内市を10年、20年先まで維持していくためにも、農業支援と耕作放棄地対策は喫緊の課題とすべきである。地域農業の担い手確保のためにも、小規模な兼業農家を対象とした補助事業を検討すべきでは。

産業建設部長

現時点で小規模であっても積極的に農業経営の拡大や発展を図る意欲を有している兼業農家を対象に、今後必要な支援を実施していく。

問 農地の有効利用と耕作放棄地の発生と解消を図ること、移住者とのマッチングを図るためにも、農地バンクのように農地情報の可視化を検討しては。

産業建設部長

今後検討していく。

問 保護者と保育所双方にとって利便性の向上と負担軽減になる取り組みとして、一部の私立保育園が導入しているおむつやお尻拭き等のサブスクリプションを公立保育園でも導入しては。

こども・健康部長

今後、保護者のニーズを把握するためにアンケートを実施する。

公立保育園で導入が望まれているおむつのサブスクリプション制度

問 保育士不足解消のため、退職者のリターン制度を導入しては。

こども・健康部長

今後、採用担当の部署と協議していく。

相澤　忠明

問 地域ビジネス支援センターの役割は

答 地域に根ざした実効性ある支援を築く

個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

地域ビジネス支援センターの建物パース

問 地域ビジネス支援センターが、創業や経営に悩む相談者にどう寄り添い、具体的にどのような支援を行うのか問う。また、手続きが煩雑な国や県の補助金申請支援や、伴走型の継続的な支援体制については。

産業建設部長

センターでは、セミナーや個別相談、メンタリング制度等を通じた伴走型支援を行う。補助金や助成制度について情報提供と申請支援を実施し、事業者の負担を軽減する。さらに、商工会や金融機関など各関係機関と構成する協議会で運営や支援体制の検討を進め、地域に根ざした実効性ある支援を目指す。

問 高齢化や人口減少で自治会の継続が難しくなる地域もあるが、地域のつながりを保つための市の支援方針を問う。

総合政策部長

多世代交流や地域イベントを補助金で支援し、地域の絆づくりを推進している。また、広域的課題に対応するため、各地域でコミュニティ協議会の設立も進める。

問 部活動の地域移行の進捗と課題を問う。

教育長

部活動地域移行推進協議会を設置し審議を進めており、今後、基本方針を策定する。

第83号　令和7年9月1日発行
発行／瀬戸内市邑久町尾張300-1 瀬戸内市議会

地域のかがやき

地域の写真を市民のみなさんからも募集します
（下記メールアドレスにお送り下さい）

朝から元気に! 12年続くラジオ体操
（福元グリーンタウン中央公園）

無病息災を願う茅の輪くぐり
（牛窓神社）

前島産ビーツを使ったレシピ開発
（邑久高等学校）

東原邸での浴衣体験
（長船町福岡）

知ってますか？文化財

餘慶寺の薬師如来坐像

約一千三〇〇年の長い歴史を持つ餘慶寺（邑久町北島）には、建造物や仏像など多くの文化財が残されています。今回はその中でも国指定文化財「木造薬師如来坐像」について紹介します。

本仏像は、市指定文化財である薬師堂裏の収蔵庫内に安置されています。像高一八二cmで、頭・体の根幹材は一材の桧（ひのき）で作られています。彫刻的作風から平安時代前期（九～十世紀）のものと考えられています。高く盛り上がった肉髻（にっけい）と呼ばれる仏様特有の頭部や、豊満で張りのある体部など当時の中央である奈良の仏像にも劣らない洗練された傑作と評されています。

本仏像が安置されている収蔵庫は、毎年十月に開催される寺宝展と四月の桜まつりで公開されています。

国指定「餘慶寺の薬師如来坐像」

編集後記

議員も市長も改選により新しい顔ぶれの議会となりました。より活発な議会を目指していきます。

議会広報編集特別委員会も新メンバーになり、新たなチームで編集してまいります。市民の方にとって身近な議会だよりになるように進めてまいりますので、ご意見、ご要望をお寄せください。

（厚東　晃央）

次回定例会の予定

（インターネット中継のある日）
都合により、日程が変更となる場合もあります。

9月 2日（火）	本会議 9:30～	
9日（火）	本会議 9:30～	一般質問
10日（水）	本会議 9:30～	一般質問
11日（木）	本会議 9:30～	一般質問
12日（金）	本会議 9:30～	
26日（金）	本会議 9:30～	

※本会議場で行う予算委員会も中継しております。
（生中継のみ）　9月25日（木）　9:30～

訂正とお詫び

議会だより第82号7ページ小野田議員の代表質問に誤りがありました。お詫びして、次のとおり訂正します。

誤：官路施設が劣化する。
正：管路施設が劣化する。

●お問い合わせは議会事務局（0869）22-0979までお願いします。
E-メールアドレス　gikaijimu@city.setouchi.lg.jp
瀬戸内市議会ホームページアドレス　https://www.city.setouchi.lg.jp

会議の様子を、生中継および録画放映でご覧になれます。

この市議会だよりは再生紙を使用しています